

羽 咋 市 職 員 採 用 案 内

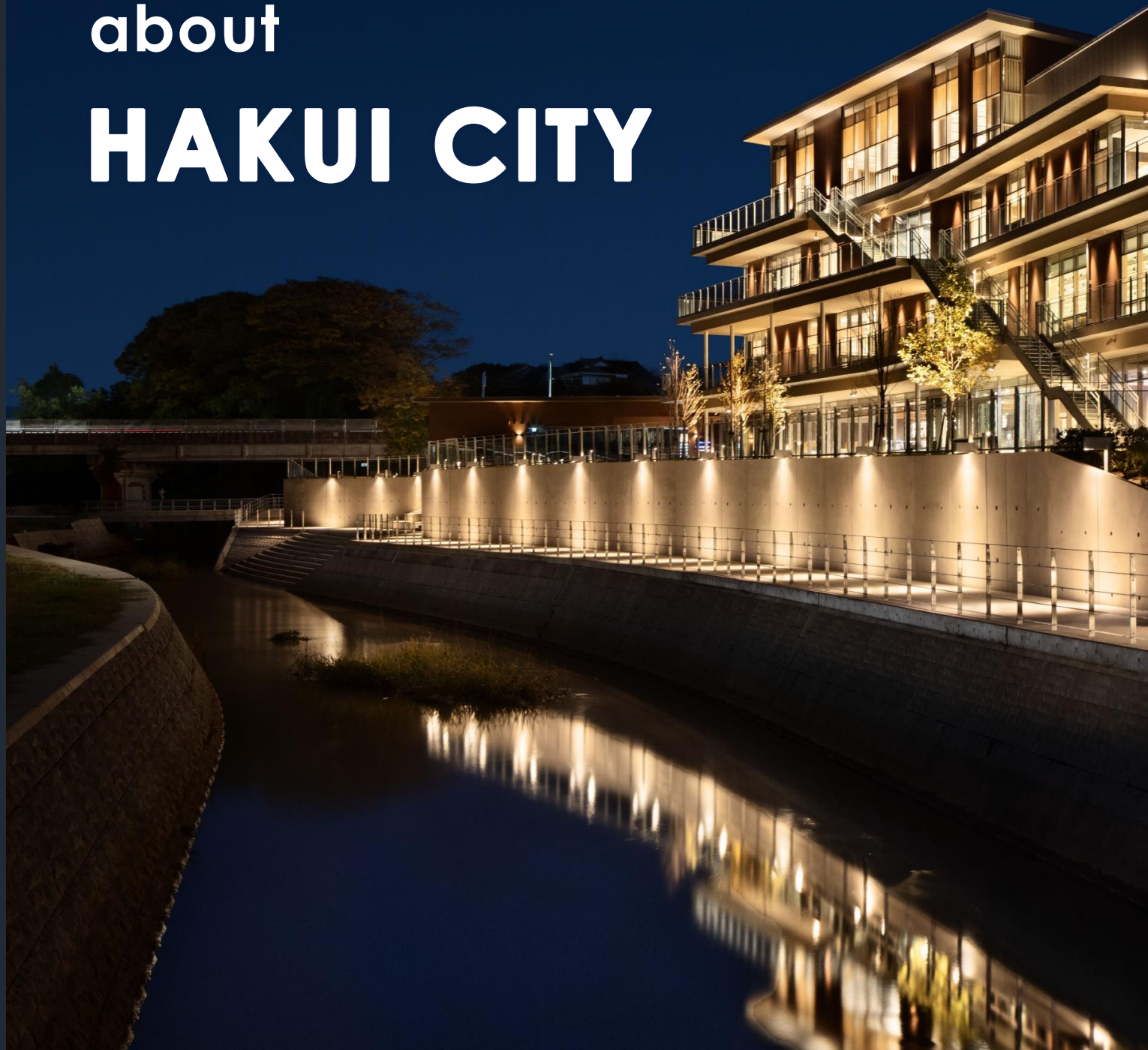
HAKUI CITY

Staff Recruitment Guide 2025

Challenge!

キミの力で、羽咋が輝く。

about HAKUI CITY



市長メッセージ



羽咋市長
岸 博一

「未来へ“つながる”輝きを！」

羽咋市では、令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向け、全庁を挙げて取り組んでいます。令和8年夏には、地域と人々が“つながる”復興公営住宅が完成予定であり、自力での住宅再建が難しい方々にも、羽咋の地で安心した暮らしを取り戻していただける見通しです。

市役所の仕事は、単なる「業務」ではなく、市民の暮らしを守り未来を築く責任ある仕事です。これからの羽咋市には、柔軟な発想と根気強さを兼ね備えた、若い力が必要です。皆さんの熱意が、羽咋の未来を照らし、輝きを“つなげて”いくことを、心から期待しています。



「R6.7 LAKUNAはくい OPEN」

羽咋市の組織（令和7年4月時点）

総務部	市民福祉部	産業建設部	教育委員会	
総務課	市民窓口課	生活安全課	学校教育課	議会事務局
デジタル推進室	税務課	農林水産課	企画振興室	会計課
秘書課	健康福祉課	商工観光課	生涯学習課	農業委員会事務局
政策調整室	地域包括ケア推進室	地域整備課	スポーツ推進室	監査委員事務局
企画財政課	こども課	上下水道課	文化財課	選挙管理委員会
まちづくり課				
災害復興推進室				

01

事務



令和4年度 入庁
長松 主事

Chomatsu

生涯学習課

Q 仕事で大変だったことは？

これまで部署の異動を何度か経験し、そのたびに業務内容がガラッと変わり戸惑いました。新しい業務に慣れるまでは、業務の進行に不安を感じていました。

しかし、様々な業務を経験し課題をクリアすることで、達成感を得られますし、自信もついてきました。公務員には、変化を恐れない気持ちがとても大切です。

Q 現在の業務内容は？

成人式や子ども会、多文化共生イベント「JAPAN TENT」などの行事を担当しています。多文化共生では、外国の方と地域の方が交流する場を作り、互いの文化を知るきっかけを大切にしています。

スムーズな進行・運営を実現できるのか、参加される方々が喜ぶ内容なのか考え、企画や準備を進めています。当日、参加された方々の笑顔や楽しんでいる様子を見ることで、仕事のモチベーションになっています。



『 応募者へのメッセージ 』

市役所には様々な部署があります。皆さんが学生時代に積み重ねてきた経験や知識も、市役所で働くうえできっと役に立つ時がきます♪

Q 現在の業務内容は？

私は、看護師から保健師に転職して3年目になりました。所属する健康推進係は、「健やかで 心豊かに生活できる 活力ある羽咋」を目指し、健康に関する様々な事業を行っています。

その中でも私は、特定健康診査、糖尿病性腎症などの重症化予防、ヘルスポランティア育成等を担当しています。また、特定保健指導や乳幼児健診では、健康に関する相談業務にも対応しています。



『 応募者へのメッセージ 』

仕事をしていくなかで悩むことはありますが、上司・先輩へ相談しやすい雰囲気、アドバイスももらえるため、安心して業務を行うことができます。市民のより良い暮らしのために、一緒に頑張りましょう♪

保健師

令和5年度 入庁
早川 保健師(主事)

Hayakawa



健康福祉課

Q 仕事で大変だったことは？

様々な方と関わるため幅広い知識が必要となり、アプローチ方法に悩むことや、保健指導時に「病予防のために〇〇しましょう」と呼び掛けても聞き流されてしまうことに、仕事の難しさを感じます。

しかし根気強く伝えることで、生活習慣を見直してくれる人が出てきたときや、悩みが晴れた瞬間の顔を見ることができたときには、やりがいを感じます。

03

建築



令和6年度 入庁
八野田 技師(主事)

Haxhinoda

地域整備課

Q 仕事で大変だったことは？

公共施設の工事の設計では、利用者を限定してしまわないよう工夫する必要があります。車いすの方や乳幼児連れの方など、すべての人にとって使いやすいように細部まで配慮することが難しかったです。

また、関係法令が多く、法改正も頻繁にあるので、日々勉強しながら対応しています。

Q 現在の業務内容は？

私は、工業高校を卒業後、建築の技師として入庁しました。より住みやすいまちづくりのため、住宅に関する各種補助金の立案・受付を行っています。また、用途地域や都市計画についてなど、建築物を建てるにあたっての規定や制限のお問い合わせに対応しています。

古くなった公衆トイレの改修工事や、令和6年能登半島地震で被害を受けた公園の復旧にも携わっています。



『 応募者へのメッセージ 』

同年代の人が少ないため、入庁直後は人間関係に不安を抱いていました。しかし実際は、年代が違って、悩んだ時に優しく相談にのってくださる親切な方ばかりで、毎日楽しく働いています。一緒に、魅力的なまちをつくっていきましょう♪

Q 現在の業務内容は？

障害のある方や生活に困っている方が地域社会で安心して暮らせるよう、サービスの提供を行っています。主に、障害者支援と生活保護制度の運営を担当しています。障害者手帳の交付手続き、医療費の助成、義足や車いすの購入費の助成などの業務があります。また生活保護制度は、保護費を支給するだけでなく、どうすれば受給者が自立した生活を送ることができるかを考えながら、就労支援や生活相談を行っています。



『 応募者へのメッセージ 』

困難に直面した際も、相談できる方が多い職場です。

市民の生活を支え、より良い地域づくりのために共に頑張りましょう♪

事務

令和5年度 入庁
黒萩 主事

Kurohagi



健康福祉課

Q 仕事で大変だったことは？

利用者がどのような支援を求めているのか、思いをくみ取るのが難しいと感じることがあります。制度も複雑であり改正も多いため、日々勉強し幅広い知識を持つ必要があります。また、予算の制約がある中で工夫しながら、1人1人に合った支援を考えるのが大変です。しかし、利用者から「ありがとう」の言葉をいただくと、その苦労が報われます。

羽咋市のまちづくりについて

～ すべての市民がともに輝くまちに向かって ～



イメージパース

01 復興公営住宅の整備

『北陸の気候に配慮した、
「全天候型×コンパクト・レジデンス」』

「住まい」は、生きていくうえで、なくてはならないものです。令和6年能登半島地震により、「住まい」を失った被災者の生活再建を支援するため、復興公営住宅の整備を進めています。これにより、仮設住宅や避難先などで暮らしている被災者が、今後も安心して羽咋の地に住み続けることができるようになります。

現在は設計を進めています。特にユニバーサルデザインや防犯・安全面を重視し、高齢者でも安心して暮らせるよう配慮しています。被災者が1日も早く、安定した「住まい」を取り戻すことができるよう、精一杯取り組んでいます。



エントランス周辺のイメージ



エレベーターホールのイメージ

『復興公営住宅とは？』

災害により住宅を失い自力での住宅再建が難しい被災者向けに、低廉な家賃で賃貸する公営住宅です。

自治体が国からの補助を受けて整備します。

地域整備課 担当者



住戸内のイメージ

02

定住促進宅地の造成



千里浜ヒルズ(第2期)造成工事後

羽咋市は、宅地の整備にも積極的に取り組んでいます。令和5、6年度にかけて、千里浜IC周辺にて「千里浜ヒルズ」全52区画の分譲を行い、早々に完売しました。金沢方面・奥能登方面双方にアクセスが良いため、若者世帯や子育て世帯だけでなく、奥能登地域の方々からの需要もありました。

現在は、新たに2か所で約30区画の整備を進めています。移住・定住に繋がることが、直接実感できる仕事です！

03

病児・休日保育専用施設 『すこやか一む』

「子どもが病気になり保育園では預かってもらえない…私も仕事があるしどうしよう…」「日曜日に子どもを預かってもらえる場所はないかな…？」そんな働く子育て世帯の声にこたえて、『すこやか一む』を整備しました。病児保育と休日保育の専用施設で、保育士や看護師などの専門家に、安心して子どもを預けることができます。子育て世帯をサポートする施策を立案し実行するのも、仕事のひとつです。



04

eスポーツの推進

羽咋市は、eスポーツの普及と発展を目的とした事業にも取り組んでいます。eスポーツは、年齢・性別・ハンディキャップの有無などに関係なく参加可能なスポーツであり、注目度が年々高まっています。

『LAKUNAはくい』3Fのeスポーツスタジオを拠点に、民間企業や大学と連携し、格闘ゲームの競技大会、プログラミングセミナー、プレイヤーコーチングキャンプなどを実施してきました。

今後は、eスポーツがより身近なものになるよう、競技大会の開催やクラブチームの創設を予定しています。これらの取組を通じて、地域の活性化と賑わいの創出を目指します！

